

2018年5月1日

関西学院 絵画部OB弦月会

## 絵画部弦月会のパレット型プレートを製作しました

絵画部弦月会のシンボルとなる「パレット型プレート」をOB弦月会で製作しました。1963（昭和38）年6月の弦月会2代目アトリエ竣工時に川西祐三郎氏（1947卒）のデザインによるプレートがアトリエ入口に掲げられ1975年頃までは残っていたようですが、その後行方不明となりました（一部卒業生によってFRP製レプリカが作られています）。2015年の絵画部弦月会創立100周年を機にルー・ス・M・グルーベル前院長の英訳による部訓「Freedom with Principle」を制定、クラブの英字表記を定めたこともあり、55年前のデザインを踏襲したプレートを新たに製作して4月4日に現在のアトリエ入口に設置しました。弦月会の伝統が詰められたこのプレートはこれから末永く学生部員たちの活動を見守っていくこととなります。製作費は100周年記念事業寄付金の残金から拠出しました。

弦月会2代目アトリエ入口に掲げられていた▶  
川西祐三郎氏デザインのプレート（1963年）



サイズ：縦360mm×横720mm×厚み30mm

材質：檜（ヒノキ）柾目板に手彫り

仕上げ：アクリル塗装（金色部分は金粉+アクリルガッシュの混合塗装）

製作者：進藤 裕 氏（京都府亀岡市在住の彫刻家、元・行動美術協会）



上記と同一仕様のミニサイズ（縦180mm×横360mm×厚み25mm、重さ450g）のプレートを3点製作し、グルーベル先生と弦月会学生部員にそれぞれ贈呈し、残る1点はOB弦月会の所有としています。絵画部弦月会の卒業生による個展やグループ展などの開催時に展示会場に掲げる用途に用いますが、希望者には貸し出しますので事務担当・佐々までご連絡ください。 [sassa@d1.dion.ne.jp](mailto:sassa@d1.dion.ne.jp)



◀ 背面に吊り下げ用のヒモをつけています。同じものをグルーベル先生に贈呈した際に、サインを書いていただきました。